

闘虎



松本篤史両スタイルで全日本優勝！

天皇杯全日本レスリング選手権大会

12月21～23日、国立代々木競技場代々木第2体育館において、「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。例年より、群馬県出身選手の出場数が少なく、やや寂しい天皇杯となつたが、フリースタイルからグレコローマンスタイルに転向した、千代田ジュニア、館林高校出身の松本篤史が、差し合いの強さとスタミナを發揮し、難なく決勝戦へ進出。決勝でも、フリースタイルで戦うときよりも、堂々とした危なげのない試合運びで見事優勝、フリー、グレコローマンの両スタイルで全日本を制した。また、天皇杯2度目の出場となった玉岡拓海（OSA一館高一福岡大2年）は、初戦で強敵を破り、準々決勝進出。ベスト4進出はならなかつたが、明治杯全日本選抜選手権大会（2017年6月）の出場権を獲得した。



クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

- 第49回

富岡実業高校

60周年を迎えた伝統校！
強い選手を数多く輩出！

レスリング部は、創立60周年を迎えた伝統ある部です。外部指導の佐藤正樹先生（本校卒業生・全国チャンピオン）と、顧問の清水真理子先生（世界第2位）の指導のもと、日々練習に励んでいます。練習は、マット運動やストレッチから始まり、技術練習、実戦練習や筋トレをします。たくさんの卒業生が練習にきてくれ、スパーゲーリングをしてくれます。最近では、レスリング教室のお母さんたちが、マスターズ大会に参加するため、一緒に練習しています。

我が部は、高校からレスリングを始める人ばかりですが、今年度は7年ぶりにインターハイに出場することができました。また、関東大会3位入賞など、素晴らしい成績を残すことができました。卒業生も、群馬県警や自衛隊に就職し、国体入賞や全日本入賞と活躍しています。

僕は、中学時代柔道をやっていましたが、「上を目指したい」と思い、レスリング部に入部しました。一年生のときはなかなか勝てませんでしたが、新人戦では3位に入賞することができました。我が部全員、関東選抜大会に出場できます。全国大会に出場できるよう、頑張ります。

SCHEDULE

■全国少年少女選抜大会

3月4日(土)・5日(日)
板橋区立小豆沢体育館

■ 少年少女恋愛書き大会

3月19日（日）
みどり市総合社会体育館

■全国高校選抜大会

3月27日（月）～29日（水）
新潟市体育館

■ジュニアクイーンズ カップ選手権大会

4月2日(日)
駒沢公園体育館

106

4月22日（土）・23日（日）
横浜文化体育館

タルジーレスワル

二〇一九年三月、ムダ

上村朋也（千代田）念願の初優勝！

関東甲信越少年少女大会

優勝者は次のとおり。

【中学生女子】 ◇ 52kg級 石井亜海 (OSA)
【5・6年】 ◇ 52kg級 上村朋也 (千代田)

2月26日、城沼総合体育館において「第25回関東甲信越少年少女レスリング大会」が行われた。今大会から「1~2年生の部」がカットされ、8面から6面マットにコンパクト化された大会だが、試合は逆にヒートアップ。その中で、上村朋也が練習に裏付けられた体力で圧倒、2、3位が多かった同大会で、念願の初優勝を果たした。高橋一輝（千代田）、中里優斗（OSA）、西原丈陽（明和）、鍋木彩羽（同）、武田杏（大間々）が決勝戦まで進出した。



練習熱心な上村朋也が関東甲信越大会で躍動！

**高橋一輝MVP獲得！
団体ではOSA3位！**
千代田近接大会

12月3日、千代田町総合体育館に

おいて「第22回千代田町少年少女レスリング大会」が行われた。地元・千代田ジュニアのエース高橋一輝が見事優勝、最優秀選手賞を獲得した。

団体では、OSAが中学生の部で第3位となった。

県内選手の優勝者は次のとおり。

【中学生男子】 ◇ 38kg級 加藤敦史 (館林)
【代田】 ◇ 42kg級 高橋一輝 (千代田)
【中学生女子】 ◇ 52kg級 石井亜海 (OSA)

12月30日、さいたまスーパーアリーナで行われた「ジュニアレスリングキャンプ」に群馬5クラブが参戦、関東圏内から集まった約4百人もの

JRレスリングキャンプ

新企画RIZIN参戦！

ぐんまのJRレスラーが

JOC出場権獲得者は次のとおり

(JOC出場は、ジュニアは1位のみ、カデットは5位まで)。

OOC出場を決めた。

JOC出場権獲得者は次のとおり

(JOC出場は、ジュニアは1位のみ、カデットは5位まで)。

OOC出場を決めた。

12月24日、山梨県富士緑体育館に

おいて「関東地区NTS予選大会」が行われた。カデットで8選手がJ

OOC出場を決めた。

JOC出場権獲得者は次のとおり

(JOC出場は、ジュニアは1位のみ、カデットは5位まで)。

OOC出場を決めた。



マット4面400人で2016年闘い納め！

**JOCの出場権かけて
年末の山梨県で熱戦！**
関東NTS予選

レスラーが集結、4面マットで鍋を削り、2016年を締めくくった。

12月24日、山梨県富士緑体育館において「関東地区NTS予選大会」が行われた。カデットで8選手がJOC出場を決めた。

JOC出場権獲得者は次のとおり

(JOC出場は、ジュニアは1位のみ、カデットは5位まで)。

OOC出場を決めた。

レスリング部顧問の先生に誘われて見学に行きましたが、見たことのない動きやスタイルに魅力を感じて、始めたことを、とても素敵な仲間とができることがとても楽しいです。尊敬しているレスラーは、リオ五輪金メダリストの登坂絵莉選手と、宮原初花さん、ライバルは小林奏音さんです。当面の目標は、ケガを治して試合に出て1勝することです。将来は、東京オリンピックに携わる仕事をしたいと思います。



市立太田高校
村尾 菜々さん (2年)

なでしこGUNMAのレスカイ

**清水真理子（富実教）
2年連続優勝を飾る！**
全日本マスターーズ

1月22日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて「全日本マスターーズレスリング選手権大会」が行われた。今大会はお笑い芸人の出場で賑わう中、「元世界銀」の清水真理子が貢禄のV2を果たした。

【41~45歳】 ◇ 58kg級 岡田英雅 (関学)
【女子30~45歳】 ◇ 58kg級 清水真理子 (富実高教員)
【男子】 ◇ 55kg級 ⑤藤倉健吾 (大泉)
【泉】 ◇ 60kg級 ⑤金井陽希 (市太田)
【田】 ◇ 84kg級 ③安齊勇馬 (前西)
【太田】 ◇ 96kg級 ⑤野鈴 (館商工)
【120kg級】 ◇ 120kg級 ⑤茂木潤 (市太田)
【女子】 ◇ 46kg級 ②宮原乙葉 (市太田)
【太田】 ◇ 55kg級 ③橋爪麗華 (関学)
【田】 ◇ 65kg級 ②坂本捺菜 (富実)
【3】 ◇ 65kg級 ①杉山絢海 (邑楽Jリーグ学院)
【3】 ◇ 70kg級 ③荻野夏美 (西邑楽)
【1】 ◇ 70kg級 ③モロヤサ シャ (関学)

2月4・5日、駒沢公園体育館において「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。男子では安齊勇馬がただ一人、銅メダルに留まった。

全国選抜出席者と女子入賞者は次のとおり。

【男子】 ◇ 55kg級 ⑤藤倉健吾 (大泉)
【泉】 ◇ 60kg級 ⑤金井陽希 (市太田)
【田】 ◇ 84kg級 ③安齊勇馬 (前西)
【太田】 ◇ 96kg級 ⑤野鈴 (館商工)
【120kg級】 ◇ 120kg級 ⑤茂木潤 (市太田)
【女子】 ◇ 46kg級 ②宮原乙葉 (市太田)
【太田】 ◇ 55kg級 ③橋爪麗華 (関学)
【田】 ◇ 65kg級 ②坂本捺菜 (富実)
【3】 ◇ 65kg級 ①杉山絢海 (邑楽Jリーグ学院)
【3】 ◇ 70kg級 ③モロヤサ シャ (関学)

県勢男子ただ一人表彰台の安齊 (右から2番目)

2月4・5日、駒沢公園体育館において「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。男子では安齊勇馬がただ一人、銅メダルに留まった。

全国選抜出席者と女子入賞者は次のとおり。

【男子】 ◇ 55kg級 ⑤藤倉健吾 (大泉)
【泉】 ◇ 60kg級 ⑤金井陽希 (市太田)
【田】 ◇ 84kg級 ③安齊勇馬 (前西)
【太田】 ◇ 96kg級 ⑤野鈴 (館商工)
【120kg級】 ◇ 120kg級 ⑤茂木潤 (市太田)
【女子】 ◇ 46kg級 ②宮原乙葉 (市太田)
【太田】 ◇ 55kg級 ③橋爪麗華 (関学)
【田】 ◇ 65kg級 ②坂本捺菜 (富実)
【3】 ◇ 65kg級 ①杉山絢海 (邑楽Jリーグ学院)
【3】 ◇ 70kg級 ③モロヤサ シャ (関学)

県勢男子ただ一人表彰台の安齊 (右から2番目)

2月4・5日、駒沢公園体育館において「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。男子では安齊勇馬がただ一人、銅メダルに留まった。

全国選抜出席者と女子入賞者は次のとおり。

【男子】 ◇ 55kg級 ⑤藤倉健吾 (大泉)
【泉】 ◇ 60kg級 ⑤金井陽希 (市太田)
【田】 ◇ 84kg級 ③安齊勇馬 (前西)
【太田】 ◇ 96kg級 ⑤野鈴 (館商工)
【120kg級】 ◇ 120kg級 ⑤茂木潤 (市太田)
【女子】 ◇ 46kg級 ②宮原乙葉 (市太田)
【太田】 ◇ 55kg級 ③橋爪麗華 (関学)
【田】 ◇ 65kg級 ②坂本捺菜 (富実)
【3】 ◇ 65kg級 ①杉山絢海 (邑楽Jリーグ学院)
【3】 ◇ 70kg級 ③モロヤサ シャ (関学)

県勢男子ただ一人表彰台の安齊 (右から2番目)

2月4・5日、駒沢公園体育館において「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。男子では安齊勇馬がただ一人、銅メダルに留まった。

全国選抜出席者と女子入賞者は次のとおり。

【男子